

ISSN 1346-3454

# 事業計画

平成29年度

福島県ハイテクプラザ

FUKUSHIMA TECHNOLOGY CENTRE

# 福島県ハイテクプラザ事業計画

平成29年度

## 目次

---

1	福島県ハイテクプラザ事業方針と組織	1
1-1	基本方針	1
1-2	福島県ハイテクプラザ組織	1
2	事業計画概要	2
2-1	企業支援業務	2
2-1-1	(新)新製品・新技術開発促進事業	2
2-1-2	放射能測定事業	2
2-1-3	再生可能エネルギー関連技術指導事業	2
2-1-4	技術指導等事業	2
2-1-5	依頼試験事業	2
2-1-6	施設・設備等の開放事業	2
2-1-7	酵母開発・頒布事業	2
2-1-8	成長産業基盤技術高度化支援事業	3
2-1-9	研究成果発表会開催事業	3
2-1-10	ハイテクプラザ機器整備事業	3
2-1-11	技術者研修・講習会開催事業	3
2-1-12	講師派遣等事業	3
2-1-13	技術移転等事業	3
2-2	技術開発業務	4
2-2-1	チャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業	4
2-2-2	(新)産総研連携強化型技術開発事業	4
2-2-3	(新)福島県オリジナル清酒製造技術の開発	4
2-2-4	(新)基盤技術開発支援事業	5
2-2-5	産業廃棄物減量化・再資源化技術支援事業	5
2-2-6	科学技術調整会議共同研究事業	5
2-2-7	受託・共同研究開発事業	5
2-3	その他の関連業務	6
2-3-1	科学技術推進活動支援事業	6
2-3-2	大学院連携事業	6
2-3-3	ハイテクプラザ地域交流促進事業	6
2-3-4	インターンシップ事業(研修生受入事業)	6
2-3-5	市町村等連携事業(地域サポーター事業)	6
2-3-6	ハイテクプラザ広報事業	6
2-3-7	職員研修等	6
2-3-8	イノベーション・コースト構想推進事業	6
3	福島県ハイテクプラザの位置(各技術支援センターを含む)	7

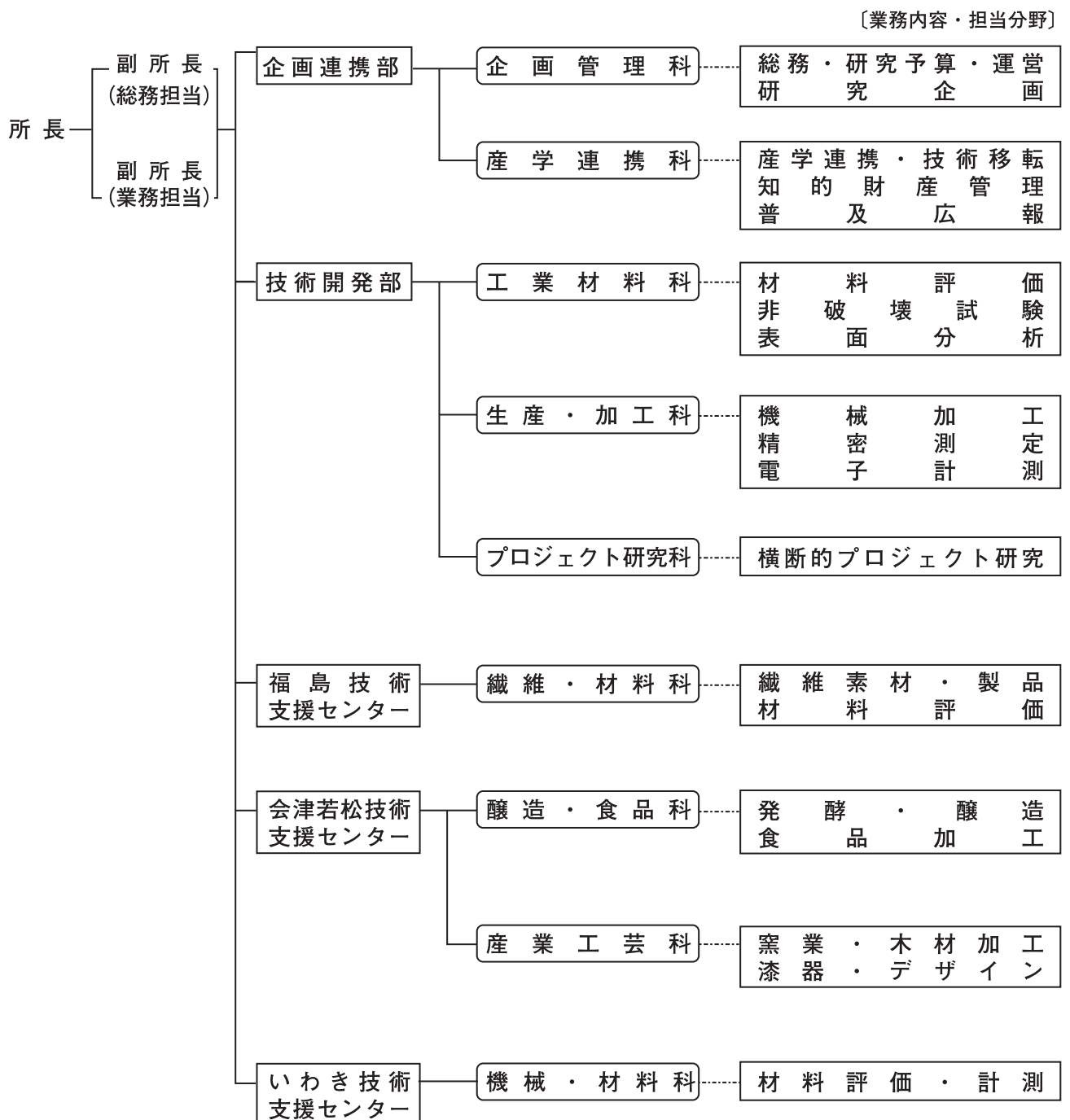
# 1 福島県ハイテクプラザ事業方針と組織

## 1-1 基本方針

ハイテクプラザの基本理念である「技術支援を使命とする開かれた産業支援機関」を実現すべく、平成29年度を初年度とする「福島県ハイテクプラザ中期ビジョン」に基づき、県内産業の復興と創生、オープンイノベーションによるものづくりの未来開拓への貢献に取り組む。

企業競争力の向上を目的とした「成長産業分野への誘導」、「ものづくり活動のサポート」の2つの事業方針とこれらを実現するための5つの基本活動（「拓く」、「支える」、「伝える」、「結ぶ」、「育む」）に則った事業展開を行うことで、県内製造業の技術的支援のみならず、技術情報の収集と発信、関係機関・支援機関の連携の中核を担う情報のハブ機関としての機能の構築、イノベーション・コースト構想、水素社会等の本県施策実現のための技術的サポートを行う。

## 1-2 福島県ハイテクプラザ組織



## 2 事業計画概要

### 2-1 企業支援業務

#### 2-1-1 (新) 新製品・新技術開発促進事業

(新) 開発型・提案型企業転換総合支援事業の一環として県内ものづくり中小企業の技術課題解決、製品開発について、技術指導等の支援を行うことで、企業競争力の強化を図る。

項目	内容
① 開発型企業発掘事業	企業訪問等により、開発意欲のある企業を発掘するとともに、技術課題の抽出及び解決を図る。 訪問企業数 200社以上
② 開発支援事業	企業との共同による技術課題解決・製品開発をとおり、開発プロセスや技術（知財等）の管理方法等についての習得を図る。 テーマ数 20件以上
③ 技術力向上支援事業	製造現場への職員・外部講師派遣、技術セミナー開催、開発支援機器等を用いた技術指導等を行うことで課題を解決し、製造現場の技術力向上を図る。 支援企業数 30件以上

#### 2-1-2 放射能測定事業

放射線に関する風評被害への対応として、県内製造業者を対象に、工業製品の放射線量と加工食品の放射能測定を行い、検査に伴う事業者の負担軽減、検査の迅速化及び検査精度の向上を図る。

#### 2-1-3 再生可能エネルギー関連技術指導事業

(新) 福島新エネ社会構想等推進技術開発事業のうち産総研連携強化型技術開発事業の一環として、再生可能エネルギー分野における技術力向上のため、ハイテクプラザ職員による技術指導等を実施する。

#### 2-1-4 技術指導等事業

県内外の企業が抱える課題等に対して、個別面談、電話及びインターネット等によりハイテクプラザ職員が相談に応じ、ハイテクプラザの持つノウハウを活かして高品質の製品開発、生産活動の効率化を支援する。

#### 2-1-5 依頼試験事業

企業の要望に応じ、各種の試験、分析を行い、迅速かつ正確な試験結果を提供する。

#### 2-1-6 施設・設備等の開放事業

ハイテクプラザが保有する先端機器をはじめとした装置・機器類を県内外の企業に対して開放する。

#### 2-1-7 酵母開発・頒布事業

県内酒造業者が使用する酵母について、会津若松技術支援センターが研究・開発を行い、醸造に適した活性を持つ酵母を需要に応じて頒布する。

## 2-1-8 成長産業基盤技術高度化支援事業

各種研究会活動を通して、企業間ネットワークの構築や連携強化を促すとともに新技術の導入や成長分野への新規参入、販路拡大を図る。

### (1) 福島県廃炉・除染ロボット技術研究会

今年度はチャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業の一環である「ふくしまロボット産業推進協議会福島県廃炉・災害対応ロボット研究会」への移行の準備を行う。

### (2) 福島県航空・宇宙産業技術研究会

今後の成長が期待される航空宇宙産業に対し、福島県内の参入可能な技術力を持つ企業を調査・発掘し、参入へ向けての技術支援と企業ネットワークの形成を図る。

### (3) 福島県製造技術高度化研究会

県内中小企業等への製造技術・評価技術等に係る最新の情報提供、及び発表・討論の場を提供し、企業間の交流と情報共有、及び新技術導入の促進と技術基盤の強化を図る。さらに、企業内の技術開発やハイテクプラザとの共同研究に発展させる。

## 2-1-9 研究成果発表会開催事業

平成28年度に取り組んだ研究や指導事例について、研究成果発表会を開催し、口頭発表やポスターセッションによりその成果を広く県内企業に普及・周知する。

## 2-1-10 ハイテクプラザ機器整備事業

新技術分野の技術相談、技術指導、施設・設備等の開放及び試験研究等の機能の充実を図るため、ハイテクプラザ及び各技術支援センターに必要な機器を整備する。公設試として企業支援を遂行する上で必須であり、依頼試験や機器使用等の利用頻度が高い機器の導入を目指す。

## 2-1-11 技術者研修・講習会開催事業

(公財)福島県産業振興センター等と連携し、県内中小企業者を対象として、先端技術の普及に重点をおいた研修・講習会を企画、開催する。

## 2-1-12 講師派遣等事業

県内市町村の商工団体、産業支援機関等で実施している技塾等の技術研修に職員を派遣し、講義・実習等の指導協力を行う。

## 2-1-13 技術移転等事業

ハイテクプラザが保有する技術や研究開発の成果を、学会誌等への論文投稿や各種展示会への出展により広く公開するとともに、企業訪問や各種広報活動を通じて県内企業に周知・提供し、新たな製品開発や企業が抱える技術課題の解決に繋げる。

## 2-2 技術開発業務

### 2-2-1 チャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業

震災からの産業復興のため、次世代の新たな産業分野として取り組んでいる災害対応ロボットをはじめとしたロボット産業集積を目指し、企業が取り組むロボット開発や要素技術開発への支援を実施する。

#### (1) フィールドロボット研究開発事業

研究課題	研究内容
①配管内洗浄ロボットの開発 (H28～H30)	ロボットの要素技術を駆使し、平時にはインフラのメンテナンス、下水管の洗浄等の産業用途、災害等の有事には有害物質除去、消火支援等、復旧作業に活用する配管内洗浄システムを開発する。

#### (2) 被災地支援ロボット開発事業

研究課題	研究内容
①電気防獣柵漏電検出・通報装置と自走式電気防獣柵除草ロボットの開発 (H27～H29)	既設の電気防獣柵に対し、漏電を検出し営農者へメールで通報する後付け型の装置を開発する。また、通報を受けた営農者が、電気防獣柵周りの低域の雑草を除草するための自走式電気防獣柵除草ロボットを開発する。

### 2-2-2 (新) 産総研連携強化型技術開発事業

(新) 福島新エネ社会構想等推進技術開発事業の一環として、水素関連分野及び再生可能エネルギー分野に携わる技術開発を行う。

研究課題	研究内容
①(新) 水素社会実現のためのスマートO&M(運転管理・メンテナンス)技術の確立 (H29～H31)	水素製造・輸送・貯蔵に活用できる運転管理・早期故障診断(O&M=オペレート・運転管理&メンテナンス)の技術開発を行う。
②(新) 再エネ関連技術の実用化促進のための研究開発 -メタルラップスルー型太陽電池の加工技術の開発- (H29)	メタルラップスルー型太陽電池セルについて、レーザーによるアイソレーション加工技術とディスペンサーによる細線印刷技術の開発を行い、更なる効率化を図る。また、セルをモジュール化し製品として性能評価を行う。

### 2-2-3 (新) 福島県オリジナル清酒製造技術の開発

福島県産原料を用いた県産清酒の多様化と更なる高品質化による県産品振興を図るため、県産酒の明確な特徴化・他地域との差別化を目指した醸造技術の開発と県内酒造メーカーへの技術支援を実施する。

研究課題	研究内容
①(新) 福島県オリジナル清酒製造技術の開発 (H29～H31)	県オリジナル酵母「うつくしま夢酵母」「うつくしま煌酵母」と県産酒造好適米を用いた福島県オリジナル清酒の製造方法とその特徴についての検証を行う。

## 2-2-4 (新) 基盤技術開発支援事業

震災からの復興やグローバル化などの課題に直面している地域産業の振興のため、先導的技術や独自技術の開発等に取り組み、その研究成果を技術移転する。

研究課題	研究内容
①海水中におけるプラスチックの劣化挙動 (H27～H29)	福島洋上風力コンソーシアムにおける電力線ケーブルには、プラスチック製フロートが装着されており、海中で20年以上性能を保ち続けることを確認するためにプラスチックの海中劣化挙動を調べる。
②本藍染めによる自動染色システムの試作開発 (H27～H29)	これまで手作業でしか染色できなかった本藍染めの自動化と量産化に対応するため、染色システムの試作開発を行う。
③県産醸造製品の品質向上に向けた高品質製造技術の確立 (H27～H29)	県産醤油及び味噌について、麴の品質や製造条件が最終製品の評価に及ぼす影響について解析する。併せて、全国品評会での入賞品について検証し、より品質の高い醸造製品の製造技術を確立する。
④(新) 実環境負荷データを再現した迅速耐久試験 (H29～H30)	様々なフィールドで利用されるロボットが実際に受ける負荷データを集録し、それを振動試験機など台上試験にて短時間で再現する試験・評価技術を確立する。

## 2-2-5 産業廃棄物減量化・再資源化技術支援事業

産業廃棄物対策をはじめとした循環型社会の構築のため、産業廃棄物排出事業者へ技術面からの支援を行うことにより、産業廃棄物減量化・再資源化を図る。

研究課題	研究内容
①石英ガラス粉末のゴムフィラーとしての有効活用 (H28～H30)	ゴムの補強フィラーとして、回収石英ガラスを用いた安価で丈夫なゴムを開発し、洋上風力発電の送電線用耐摩耗性保護管として商品化する。

## 2-2-6 科学技術調整会議共同研究事業

県内の8公設試験研究機関等で構成される科学技術調整会議の共同研究分科会において、各機関単独では解決困難な課題について共同で研究を実施する。

研究課題	研究内容
①地域在来作物の栄養・機能性を活かした加工技術の開発 (H28～H30)	県内の在来作物について、栄養・機能性成分の特徴を調査し、それらの成分を損なわないような一次加工技術を開発する。
②雪下野菜の特性評価 (H28～H30)	特色ある農産物及び加工食品の開発を支援するため、雪下野菜の栄養・食味における一般野菜に対する優位性や加工特性食品素材として求められる品質(栄養成分の含有量や食味)を明らかにする。

## 2-2-7 受託・共同研究開発事業

ハイテクプラザが県以外の機関や企業からの委託又は共同で本県産業振興に寄与する各研究開発を行うことにより、新技術の開発や技術的課題の解決を図る。

## 2-3 その他の関連業務

### 2-3-1 科学技術推進活動支援事業

産学官コーディネーター連絡会議を通じ、大学、産業支援機関等のコーディネーター間の連携・交流及びそれぞれのコーディネーターが有する目利き力や技術シーズ等の情報共有を促進し、県内全域における幅広いコーディネート活動を支援する。

### 2-3-2 大学院連携事業

福島大学、会津大学等の県内大学において、客員教授等として大学院生の教育研究指導にあたる。また、新たな技術習得等に向けハイテクプラザ職員を大学院に派遣する。

### 2-3-3 ハイテクプラザ地域交流促進事業

次世代のものづくりを担う若年世代を対象に、ハイテクプラザの役割や機能について理解を深めてもらう事を目的として一般公開や体験教室を開催する。一般公開では、施設の見学や子供たちがものづくりや科学を体験できるワークショップを提供する。また、体験教室では、県内の工業系高等学校などの学生を対象に、保有技術や設備を活用したものづくり現場の実際を学んでもらう。

### 2-3-4 インターンシップ事業（研修生受入事業）

県が実施する大学等の学生向けインターンシップのほか、県内の高等学校等の生徒に対して、ハイテクプラザの業務に関係する研修や就業体験を行う。

### 2-3-5 市町村等連携事業（地域サポーター事業）

県内の各市町村及び商工団体等を職員が訪問し、ハイテクプラザで実施する事業の広報と各地域の情報収集（各市町村・団体等が実施する商工関連振興策、管内企業の状況、県に対する要望など）を行う。

### 2-3-6 ハイテクプラザ広報事業

ふくしま復興・再生可能エネルギー産業フェア（REIF）などの県が主催する展示会や市町村等が開催する産業振興イベント等への積極的な出展のほか、各種団体の所内見学への対応等により、ハイテクプラザの役割・業務内容や研究成果等を広く紹介することで、ハイテクプラザの認知度の更なる向上及び利用企業数の拡大を図る。

### 2-3-7 職員研修等

技術革新の進展に応じた技術研修、セミナー等にハイテクプラザ職員を参加させ、職員のスキルアップによる中小企業技術指導体制の充実・強化を図る。

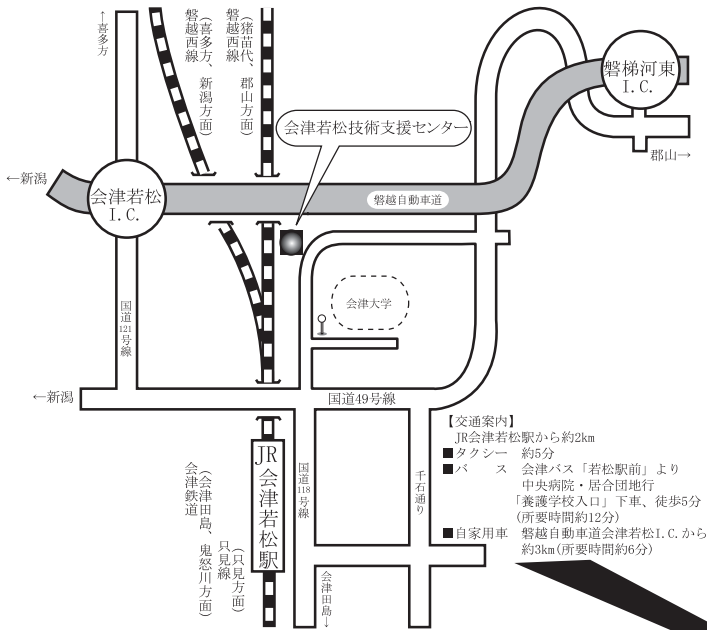
### 2-3-8 イノベーション・コースト構想推進事業

イノベーション・コースト構想の具現化のため、国等が実施する事業に協力する。



### 3 福島県ハイテクプラザの位置（各技術支援センターを含む）

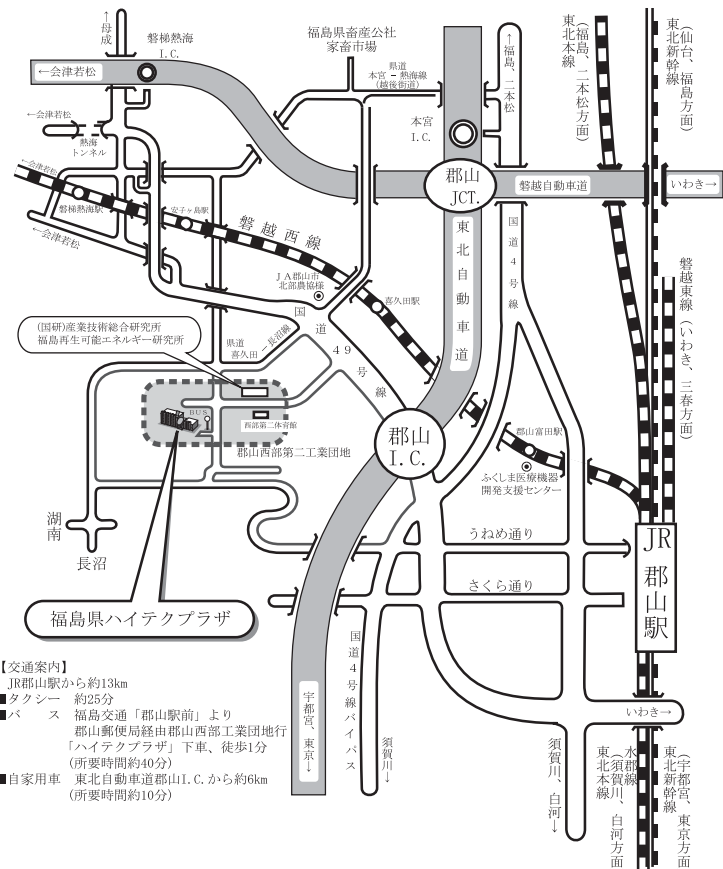
会津若松技術支援センター



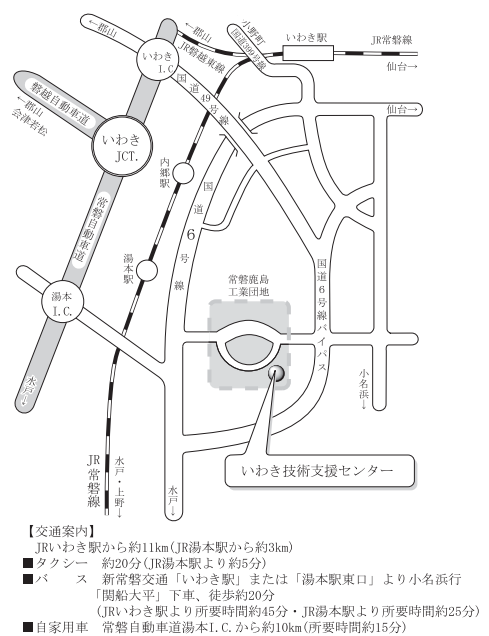
福島技術支援センター



福島県ハイテクプラザ(郡山)



いわき技術支援センター



# 福島県ハイテクプラザ事業計画

平成29年度

平成29年3月発行

URL <http://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/hightech/index-pc.html>

E-Mail [hightech-honsyo@pref.fukushima.lg.jp](mailto:hightech-honsyo@pref.fukushima.lg.jp)

発行

## 福島県ハイテクプラザ

〒963-0297 郡山市待池台1丁目12番地

代	表	024-959-1741							
企	画	管	理	科	024-959-1736				
産	学	連	携	科	024-959-1741				
工	業	材	料	科	024-959-1737				
生	産	・	加	工	科	024-959-1738			
プ	ロ	ジ	ェ	ク	ト	研	究	科	024-959-1739
F	A	X	024-959-1761						

## 福島県ハイテクプラザ福島技術支援センター

〒960-2154 福島市佐倉下字附ノ川1番地の3

代	表	024-593-1121				
織	維	・	材	料	科	024-593-1122
F	A	X	024-593-1125			

## 福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター

〒965-0006 会津若松市一箕町大字鶴賀字下柳原88番1

代	表	0242-39-2100				
醸	造	・	食	品	科	0242-39-2977
産	業	工	芸	科	0242-39-2978	
F	A	X	0242-39-0335			

## 福島県ハイテクプラザいわき技術支援センター

〒972-8312 いわき市常磐下船尾町杭出作23番地の32

代	表	0246-44-1475				
機	械	・	材	料	科	0246-44-1475
F	A	X	0246-43-6958			

編集

福島県ハイテクプラザ 企画管理科